

上州渋川

2012群馬大会(144MHz)での 私の判断と行動

2012年5月12日(土)
於 群馬県渋川

安島 巧

▲ スタート地点
◎ ゴールビーコン
● 危険区域

2012-May-12 群馬県渋川市赤城町・北橋町
2012群馬県ARDF競技大会 144MHz部門
2012高等学校ARDF競技大会 北関東地区大会

現地調査、地図製作・群馬ARDFクラブ
緊急連絡先



縮尺 1:15,000 等高線間隔 10m
K. Shino OCAD9.7.1 License No. 5883

初めに

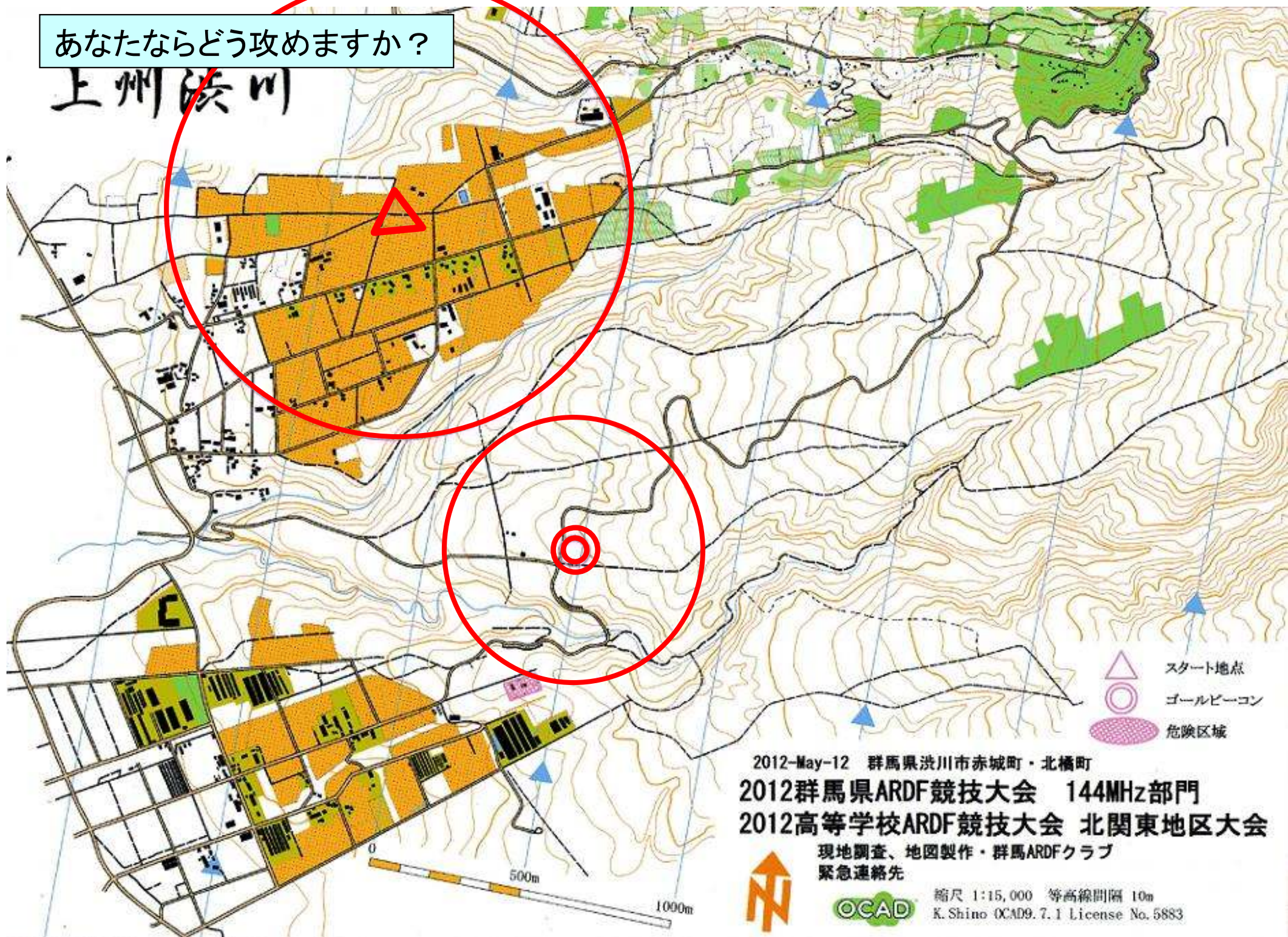
このドキュメントは、ARDF競技に参加したときに、私がどういう場面でどういう判断をしたかを記憶を頼りに記録したものです。

従って、「こうすべき」という正解を記載したものではありません。

ARDFに参加した一競技者の話として、主に初心者の皆さんの役に立てられればと思って作成いたしました。

あなたならどう攻めますか？

上州碓氷川



- ▲ スタート地点
- ◎ ゴールビーコン
- 危険区域

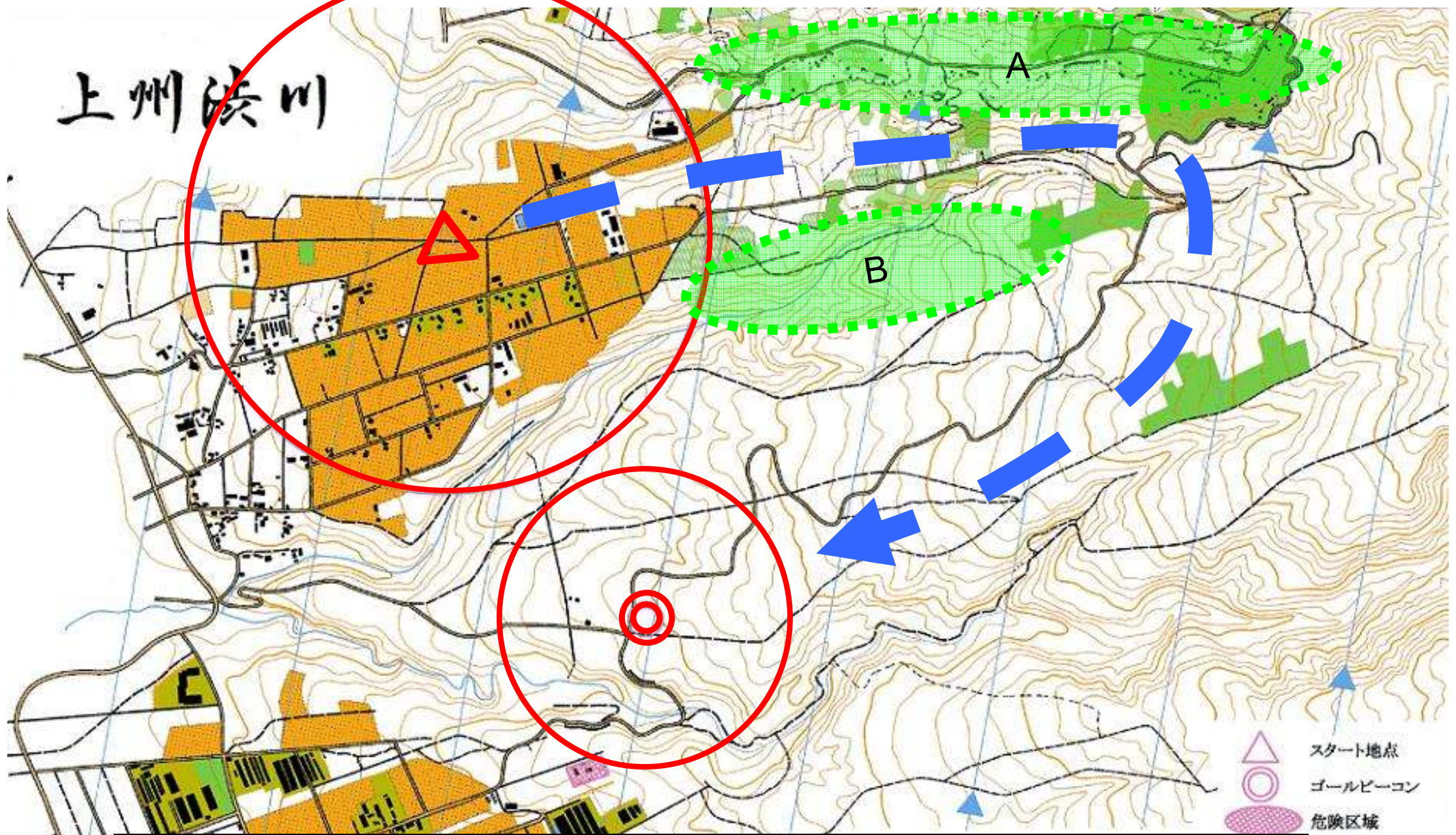
2012-May-12 群馬県碓氷川市赤城町・北橋町
2012群馬県ARDF競技大会 144MHz部門
2012高等学校ARDF競技大会 北関東地区大会

現地調査、地図製作・群馬ARDFクラブ
緊急連絡先



縮尺 1:15,000 等高線間隔 10m
K. Shino OCAD9. 7.1 License No. 5883

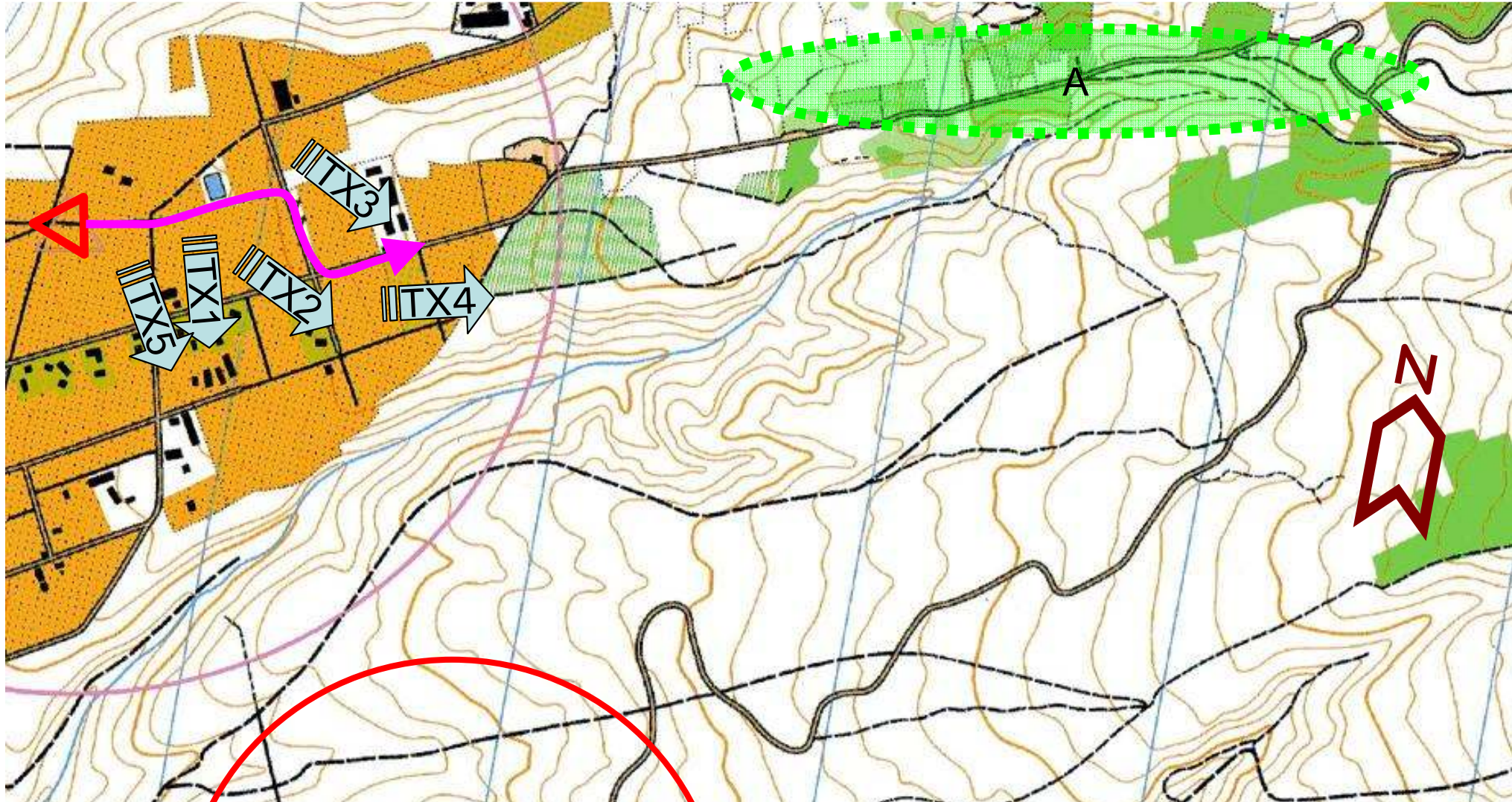
上州碓氷川



①スタート前の地図読み

東側が高地。Aエリアにあってほしくない。メイントレインへ行くのに道を使って大きく東側を回る方法と、Bエリアあたりで藪コギする方法がある。しかしBエリアは深い谷があるので、東側の道を選択する。

部門
地区大会



②探索開始地点

TX1, TX5はゴール方向。

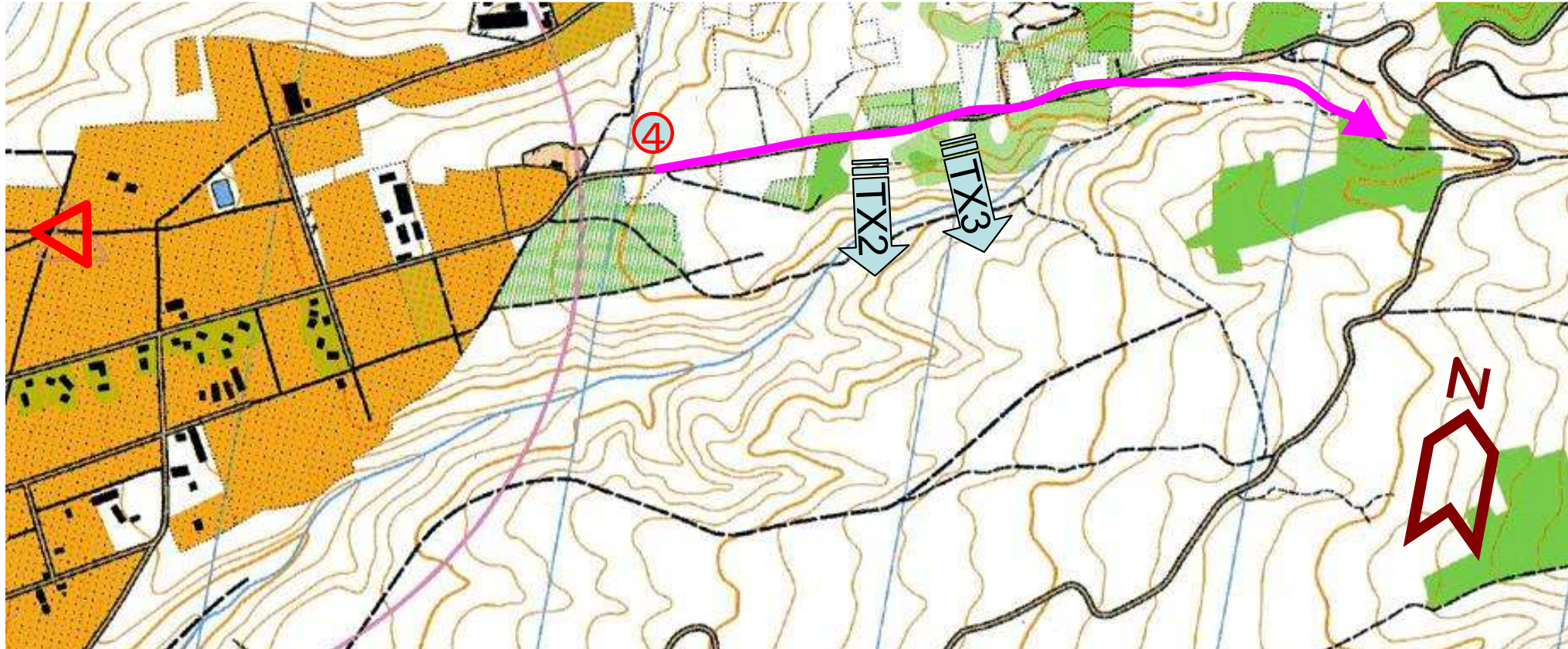
TX2, 3, 4は東方向で、比較的強いTX4を除けばAエリアにはなさそうだ。予定通りのコース取りとする。



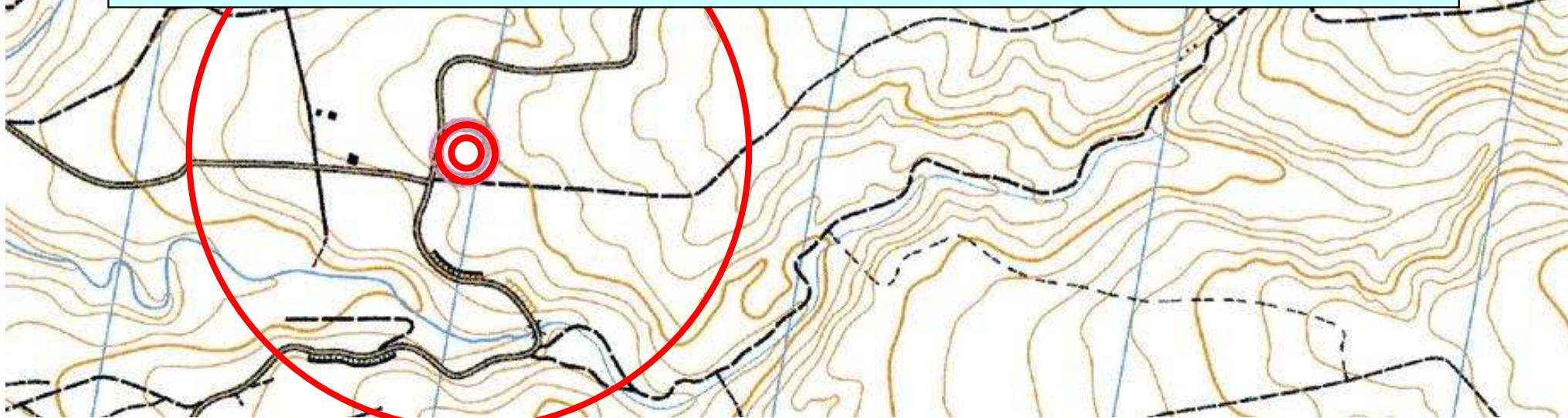
③TX4

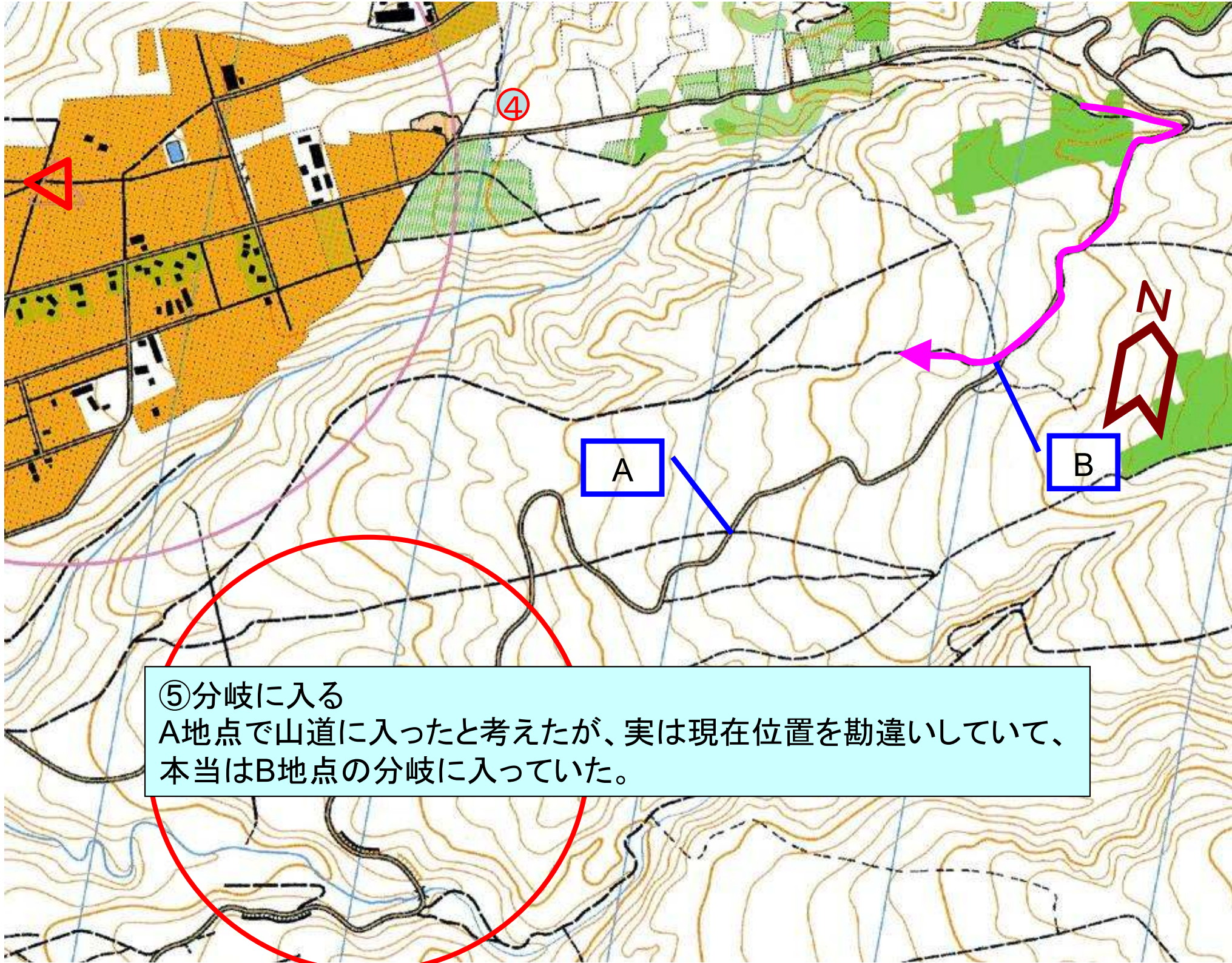
Y字分岐付近でTX4が鳴く。

比較的強いが、まだ距離はありそうで、方向は道方向斜め右だ。
しばらく進むと左の森にフラッグ発見。TX4ゲット。



④ひたすら登る
東方向へ坂を上る。TX2とTX3が南方向へと変わるが、谷があるのでショート
パスは考えない。

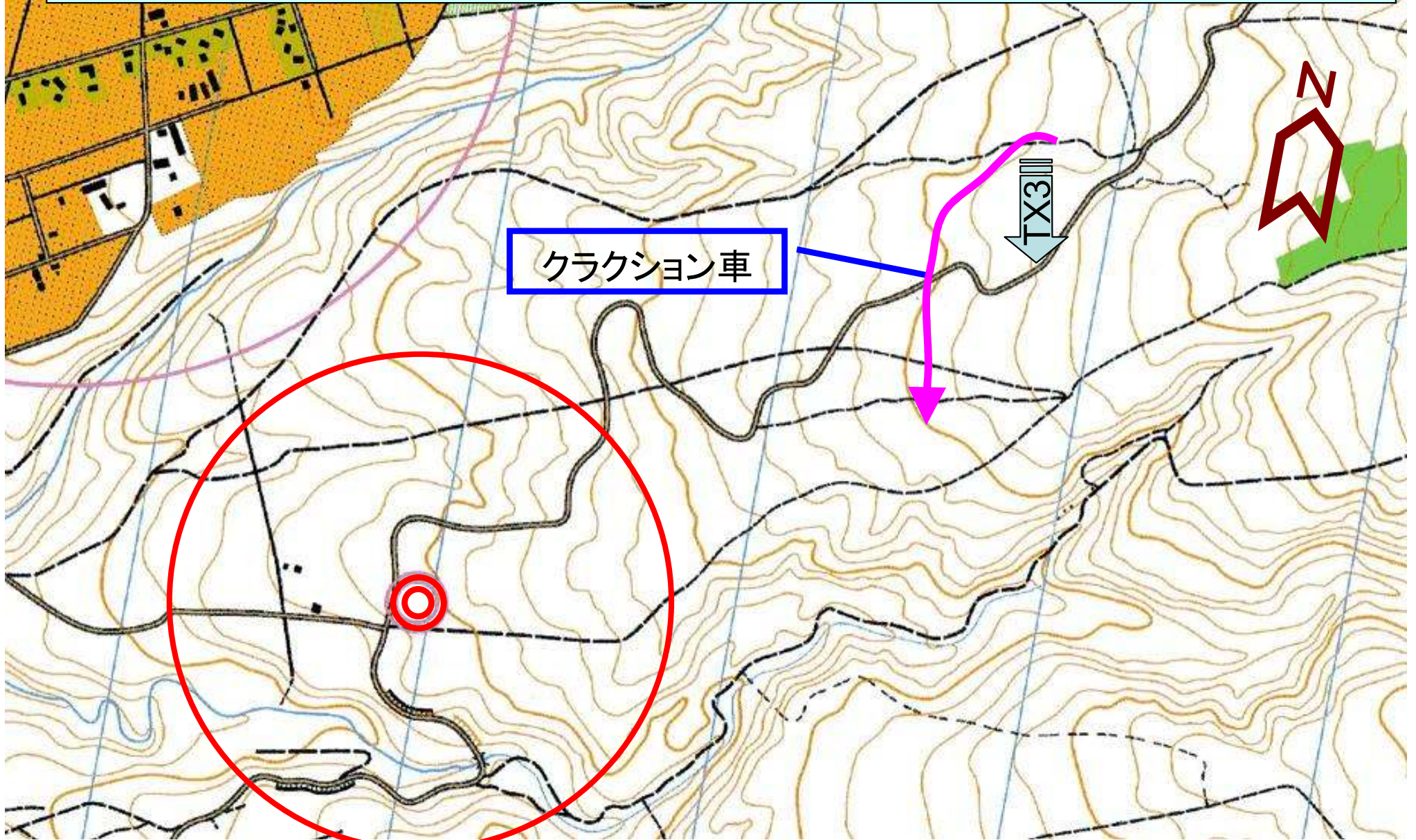




⑤分岐に入る
A地点で山道に入ったと考えたが、実は現在位置を勘違いしていて、
本当はB地点の分岐に入っていた。

⑥クラクション

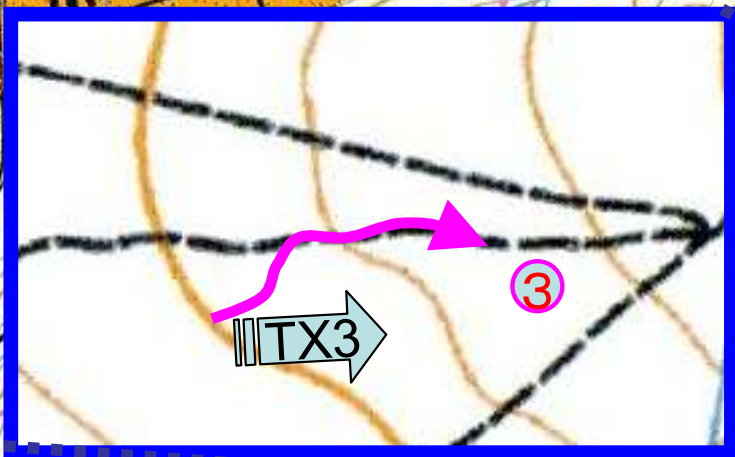
200mくらいで舗装道路に出るはずだが、山道は続き、少しおかしいなと感じる。TX3が鳴くが南方向。あわてて南方向へと森を進む。カラフルな色が見えたのでそちら方向へ進むと山菜取りのおばさんであった。道の方から山菜取りおばさんと呼ぶクラクションが聞こえる。舗装道路を横切りさらに南方向へと進む。山道を何本か横断する。



④

⑦TX3

TX3が鳴く。今度は東方向。至近距離ではなさそうなので、一番手前の山道に戻りながら東方向へと進む。右側にフラッグが見えた。TX3ゲット。

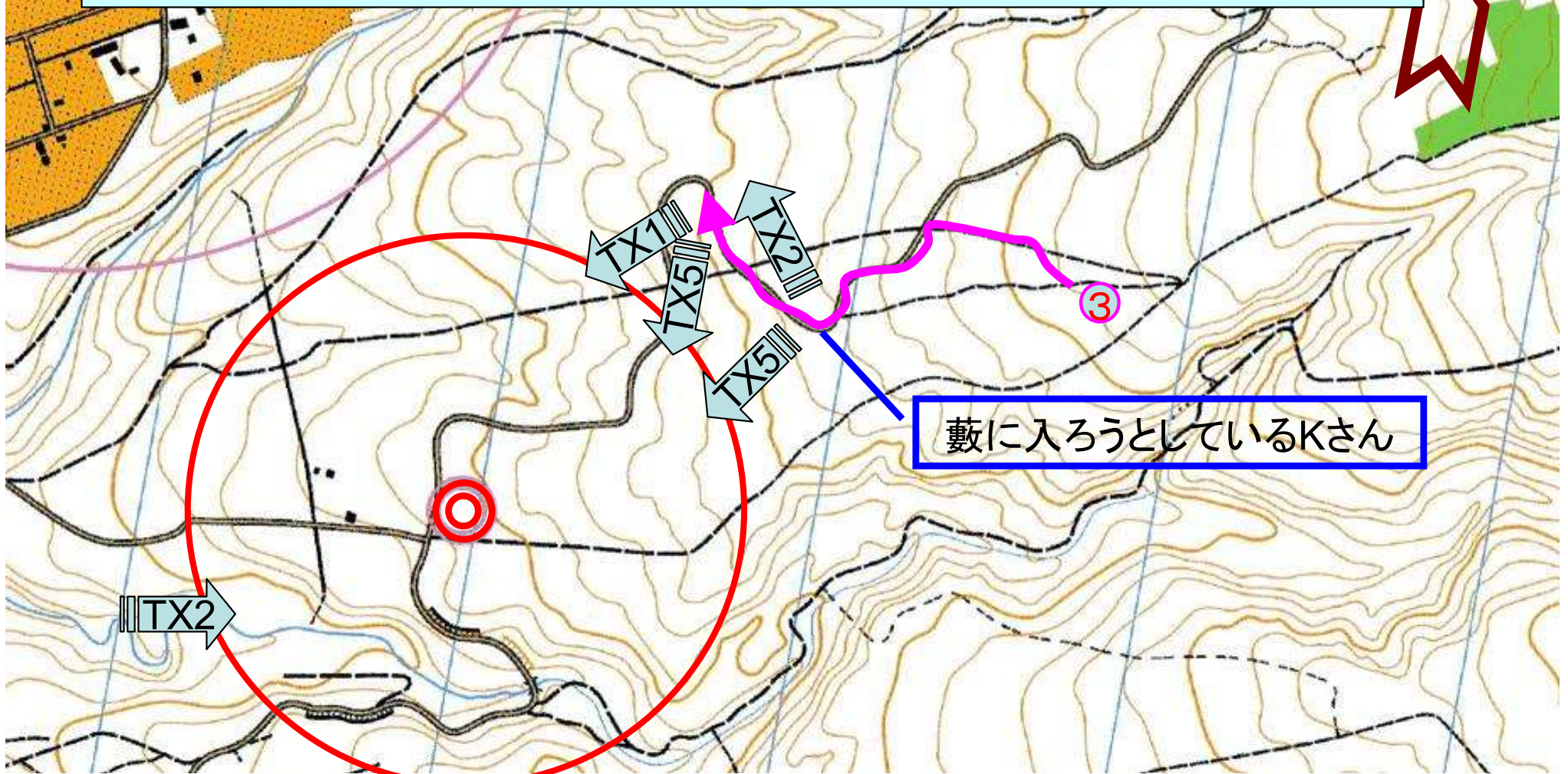


⑧舗装道路へと戻る

舗装道路へに行きたいが、この山道を下るとゴールに出てしまう可能性があると考え、一本山道に戻って降りる。

このテレインは方探を非常にしづらい。無指向性状態だ。

TX5はゴール方向のようだが不安。TX2は道なり方向だ。しばらくするとTX5がゴール方向へと変わる。KさんがTX5狙いか藪に入ろうとしている。TX1は下方向。M50クラスではTX2は不要にも関わらず、足は安定して方位が出ているTX2に向かってしまった。



A topographic map showing a valley with a winding path. A red circle highlights a target area in the lower-left. A pink arrow points to a marker labeled '2' on the path. A red arrow points to a marker labeled '4' at the top. A pink circle highlights a marker labeled '3' on the right. A red arrow points to the left edge. A red arrow with 'N' points to the top right. A text box is in the upper left.

⑨TX2

コンパスモードで森に入りひたすら進む。山道が見えてくる。それ以上は谷となるので進めないはず。山道までくるとフラッグがあった。TX2ゲット。

⑩ひたすら下る

舗装道路に出て、山道を下る。TX5は南方向となったが不安定だ。きっと尾根道より南側のDエリアにあるに違いない。下のほうにあるTX1を先にゲットすることを考える。なぜならTX1ゲットの後、ゴールまで登ってくれば、TX5がDエリアにあるか否かがわかるからだ。

④

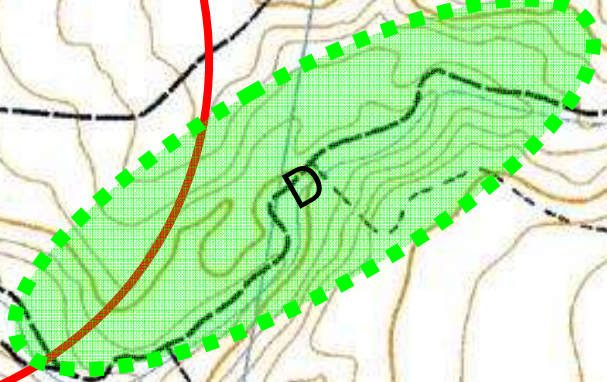
②

③

TX1

TX5

D



⑫ゴール方向へ向かう

ゴールに向かう途中で沢山のゴール者を乗せたバスとすれ違う。「みんな早いなあ」。舗装道路を登りながらTX5を方探する。ポイントはゴールからの山道にあるか、Dエリアにあるかである。ゴールからの400mを考えてもDエリアにある可能性は高い。やはりTX5は山道方向右よりだ。Dエリアと判断。



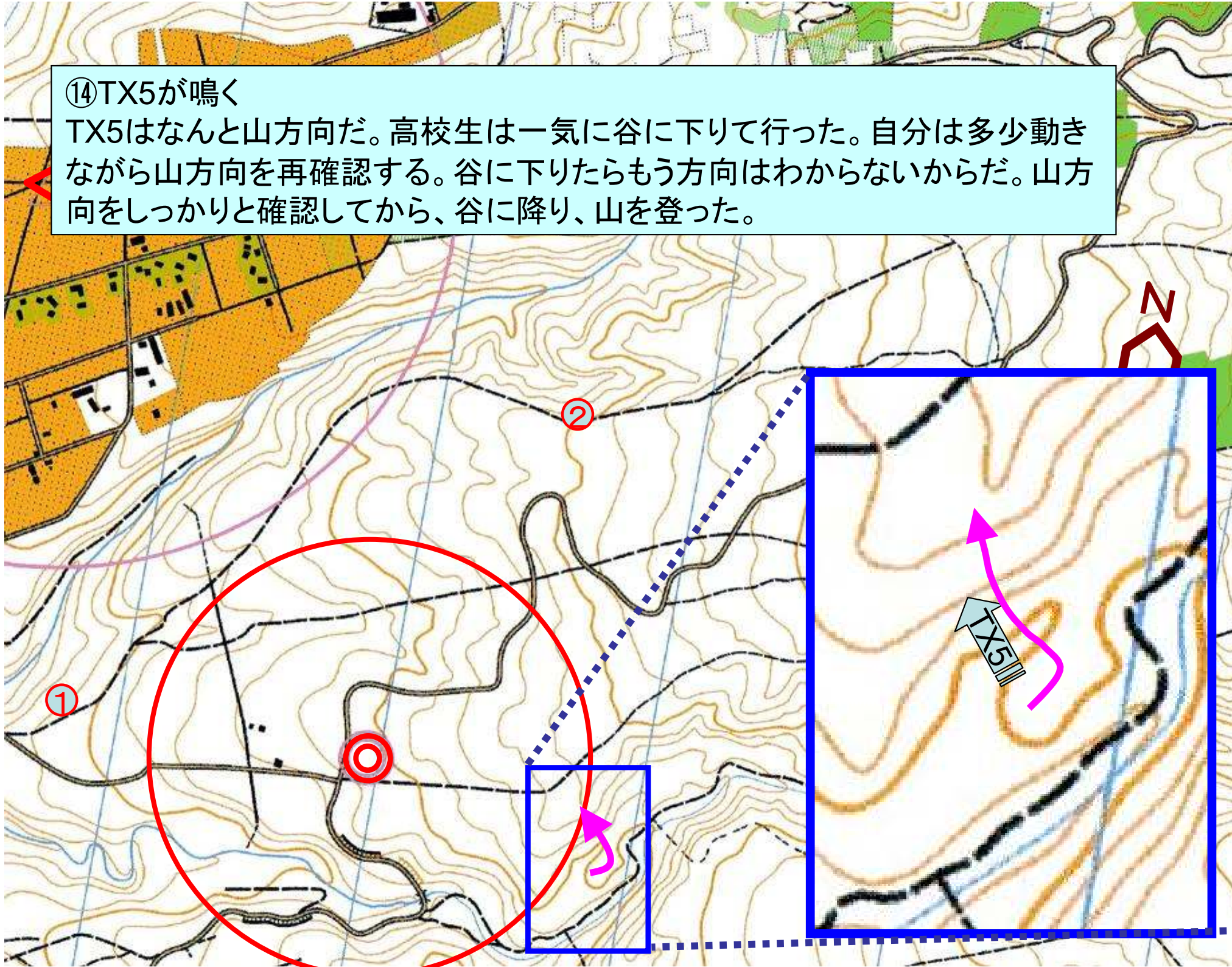
⑬失敗した

Dエリアの分岐付近に到達する。前方に高校生が一人見える。
TX5が鳴く。強烈に入感するはずだったが、さっきより弱くなってしまったようだ。
おかしい。左側の土手に登り、TX5を待つ。高校生も登ってきた。



⑭TX5が鳴く

TX5はなんと山方向だ。高校生は一気に谷に下りて行った。自分は多少動きながら山方向を再確認する。谷に下りたらもう方向はわからないからだ。山方向をしっかりと確認してから、谷に降り、山を登った。



⑮TX5

尾根道らしきものが見えてきた。

TX5が鳴く。えっ後ろ？今上がってきたところなのに。しっかりと方探すと斜め方向にフラッグが見えた。TX5ゲット。

④

②


③

①



⑤

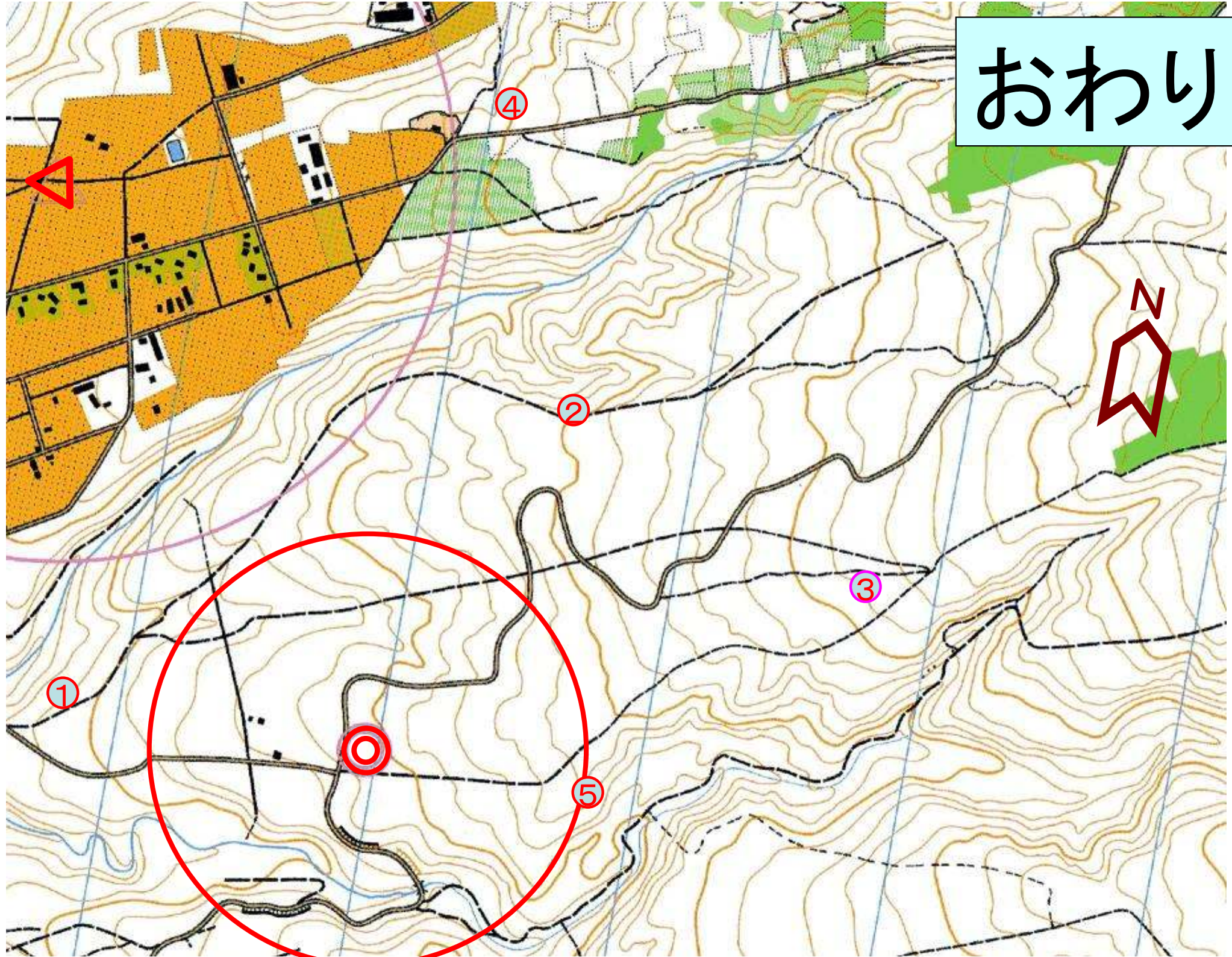


A topographic map showing a hilly area with contour lines. A red circle highlights a path starting from a road on the left, going up a hill, and then down a ridge. A red arrow points to a goal symbol (a red circle with a white center) on the ridge. Other points are marked with red circles containing numbers 1, 2, 3, 4, and 5. A pink arrow points from point 5 towards the goal. A red zigzag arrow points towards the top right. A red triangle points to the left on the left edge. A light blue box with Japanese text is overlaid on the map.

⑬ゴール

山道を下り、途中から山に入る。せっかくの森なので、ビーコン探索をする。自分の足元だけを見て周囲が見えないようにして、方探しながら進む。どんどん信号が強くなる。フラッグを目視で見つけるより面白い。ゴール。

おわり



反省

◇現在位置を間違えて、違う山道に入ってしまった。地図を良く見ていなかったのが原因。

◇TX5の位置を間違えた。これは谷にあるという予測に固執しすぎたためだ。方探した結果を素直に解釈しないで色眼鏡で判定していたためだ。データは素直な心で見なくてはならない。